



長寿園理念

「人生の目的は円満幸福の生活にある」との信念に基づき、高齢者がそれぞれ円満で幸福な生活ができるよう所要の協力と支援を行うことによつて社会に貢献します。

【発行】

一般財団法人長寿会

小田原市入生田 475

TEL. 0465-24-0002(代)

編集 / 広報委員会



入居者 卯月 修吾

百歳となる年を迎えました。この際、拙い私の百年を振り返つて見たいと思います。

先ず、思い浮かべるのは、お世話になった方々です。数多くの方々にお世話になりましたが、

私が他人の役に立ったと思われ、私には少なく、慚愧に堪えませんが、私の生涯は軍人、市井の人、山伏の三つに分かれます。

私は一四歳で陸軍幼年学校に入り、昭和一九年士官学校卒業、任官、ソ満国境の部隊に赴任、

二〇年二月南方転進、八月南部台湾で終戦となりました。この間士官学校の同期生、聯隊の将兵ともに約三割戦死しましたが、私は一度も直接交戦することなく復員しました。

市井の人となり郷里に帰りましたが、軍人以外の事は何も知らないで、戦後の混乱した占領下に放り出されたものであり、

新たな道を捜すことになり、平塚在住の長兄を頼りに上京しました。自立して通学するには夜

学となり、当時の夜学は文系の明治、中央、専修の三大学のみ

で、理系はなく、中央大学と決めて受験の手続きをし、生活は長兄の会社の東京出張所に採用

されることになりました。航空機製造会社ですから、敗戦によつて注文は全くなく、設備は賠償対象という事で、無理をした

入社でした。この為の曲折もありましたが、その会社(現日産車体(平塚))に定年まで勤めさせて頂きました。この間、家庭

を持ち、児孫にも恵まれ、平和な時代であり、顧みて幸福な時代であったと思います。

齢七〇を過ぎた頃、家内が突然癌を発病、多発性骨髄炎と診断され、有効な手段がありませんでした。家内が住職としてい

た寺の後始末をしなければなりません。葬儀に來臨して頂いた本山の管長様に率直に如何にすべきか承ったところ「貴方がやりなさい」「私は修験道については何も知りませんので」「誰でも初めては何も知らないのです。知らないことは教えましょう」という事で、

金峯山修験本宗関東山妙力寺代表役員代務者となり、登記も済ませました。修験宗とは仏教に神道、道教も取り入れ、明治以前は広く日本に広まった宗教で、明治の排仏の際に禁止され細々と残っているだけですが、江戸時代までは広く日本中に広がり、修験者(山伏)が護摩など、加持祈禱により、除災招福を冀う宗教です。

この為これを行なう山伏には格別の修業と洞察力が要望されますが、私にはありません。

私は本山で催行する修験道最高の修業と言われる奥駈けにも七五歳から参加、八〇歳で奥駈定年との事で終わりになるまで

〈次の頁へ〉



毎年参加しました。健康等多大の得る所はありましたが、悟りに少しでも近づいたような事は全くなく、相変わらず凡々のまま、業務を怠る事のない様に勤めています。

私の長い生涯は、私が希望し計画したものではなく、偶然に左右されたものが多く、老後はお世話になってる長寿園も、たまたま住居の近くであったことにより入居させていただきましたが、まことに良い選択でした。

このように偶然が良い結果となる好運に恵まれました一〇〇年でありましたが、そろそろ家内が呼びに来る頃となった様です。振り返って今迄お世話になった方々に改めて御礼申し上げます、残りの時間を長寿園の方々に、お願い申し上げて筆を納めます。有難うございました。

健康音楽教室

入居者 高津 學

コロナ禍、この変化しやすいRNAウィルスの流行が、もう8波にもなる流行の繰り返しで、3年にもなりました。感染防御対策で入居者の楽しみのサークル教室は、コーラス、詩吟などは中止、書道、器楽も断続的に中止に追い込まれ、部屋に閉じこもり、気の晴れぬ月日が続きました。

そんな状況の中で11月から従来の器楽の会に代えて、こんな状況下においてつけの健康音楽教室が始まりました。発声機能の解説から、ピアノ伴奏での基本的な声出しまでを楽しく教わっています。上気道を鍛え、対ウイルス免疫力を高める、川島先生がコロナ禍で演奏会もできない困難な状況の中で、お弟子さんたちなどのオンライン指導の為に確立された方式です。何時も進化している先生のご指導は、僕のように音感の悪い者にも分かり易く、楽しい会になっています。僕も今回、初めの頃の会に参加しなかったことを悔いています。皆さん参加して戴いて、この良い体験を、そして楽しみながら風邪やコロナ、インフルエンザ、ノロウイルスなどへの抵抗力の強化にもなる、このサークルにおいてくださいと、強く(大声で)お呼びかけしています。





私の目指す「美味しいから食べる料理」

栄養士 齋藤宏美

私が大事にしている言葉があります。それは、「美味しかったから食べたのではなく、それしか食べるものがなかったから食べた」という言葉です。

保育園の厨房で従事していた時、おやつを作るのを失敗してしまっただけですが、新たに作り直す材料も時間もなくそのまま提供。しかし、食べ残しが少なかった為、先輩の栄養士に報告したところ先程のように言われました。

新卒で初めての大きな失敗だったということもあり「仕事で料理をするということは責任が伴うのだ」とその時に社会人であるという立場を認識し、身の引き締まる思いをしました。もちろん食欲をそそるような匂いや彩り、食材の重複等も大事ですが、「仕方なく食べるのではなく、美味しいから食べる」料理を提供したいと日々努めています。

長寿園では年二回程、厨房スタッフも交えて「お食事に関する意見交換会」を開催していま

す。ご入居者からのお声は日々伺っています。味や食材の硬さ等について改めてお聞きし、改善出来る点は対応しております。しかし、全ての方の好みに合わせるのには難しいです。育ってきた地域、環境も違いますし、薄い味が好みの方、濃い味が好みの方、味覚が鈍くなってきた方が様々だからです。

皆様に残さず召し上がっていただけるように食材を細かくカットしたり、アレルギーや嗜好等で食べられない物は可能な限り代替えでの対応をしています。食事を残してしまっていた方に様々な対応をしたことで完食された時はとても嬉しく、「対応して良かったな」とやりがいを感じます。

その他食中毒と感染症について、年二回ご入居者対象の教室を開催している為か、食堂で食事前の手洗いと消毒は皆様積極

的に取り組んでいます。

コロナが日本にも現れ始めた当初、テーブルに十字の亚克力板を設置した方が良いのか、提供カウンターと下膳カウンターに仕切りをして食堂と厨房の開けている部分を最小限にした方が良いのか、設置しているテイスターバーはご入居者が自由に飲めるので使用中止にした方が良いのか等、予防対策として何が良いのかと色々考えました。

現在のお席は、はす向かいに座っていただき、お食事の黙食をお願いしています。コロナ前は皆様楽しくお話ししながら召し上がっていましたので、コロナ前とは少し違う食堂の雰囲気になつていきます。それでも食事後、帰られる時に「美味しいかった」と声をかけていただけるのは嬉しいのです。

これからも皆様に喜んでいただけるようなお食事を提供していきます。



長寿園の目々

二〇二三年
 一月一日
 一月二日
 二月一〇日
 二四日
 一〇月五日
 一〇日

蓄音機を楽しむ会
 体力チャレンジ
 秋の行楽 車窓「箱根」
 手作り教室「正月飾り」
 クリスマス会
 初顔合わせ



新年初顔合わせ



クリスマス会



体力チャレンジ!



手作り教室



マスク着用が個人の判断に
 委ねられるにあたって

三月一三日よりマスクの着用は個人の判断に委ねられることになり、五月には新型コロナウイルスの感染症類型がインフルエンザ並みの第五類に変更されます。しかし、重症化リスクやクラスターリスクの高い高齢者施設では従前と変わらない対応が求められています。長寿園では原則としてこれまでと同様の感染予防対策を継続してまいりますのでご理解ご協力をお願いいたします。なお、面会や外出、その他の催事に関しましては一部見直しをしております。詳しくは当園までお問合せ下さい。

副園長 加藤 翔



新型コロナウイルス
 対策実施中